

# 東日本手外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

令和4年1月15日号

January 15, 2022

## ●●● 第36回東日本手外科研究会開催にあたって

第36回東日本手外科研究会を2022年3月5日（土）、茨城県つくば市のつくば国際会議場にて開催させていただくことを大変光栄に存じます。

テーマは「知・好・楽」と致しました。「知・好・楽」とは論語にある「子曰、知之者不如好之者、好之者不如楽之者」からの言葉で、日本での一般的な解釈は「知っているだけの人は好んでやっている人にはかなわない。好んでやっている人も楽しんでやっている人にはかなわない。」という仕事などへの取り組み方を述べた言葉です。本研究会は新しい治療の工夫や貴重な症例の治療などを勉強できる会と思います。若い先生に多く参加していただき、会員の皆様とともに、手外科をますます好きになって楽しめるよう勉強できる会にしたいと考えております。

招待講演は私がスウェーデン留学時に研究指導をしていただいたLund大学Skane(スコネ)病院の手外科教授であるLars B Dahlin教授に末梢神経の画像の最新研究について講演していただく予定です。主題として治療の新しい試み、腱断裂治療の工夫、シンポジウムとして高齢者の手外科疾患の治療、パネルディスカッションとしてwide awake hand surgeryを予定しています。

さて、新型コロナウイルス感染が蔓延し始めてから2年になります。この間、ほとんどの学会や研究会がweb形式となり、他の病院の先生方と会って討論する機会がほとんどなくなってしまい残念でした。昨夏のデルタ株による感染爆発はすさまじいものでしたが、一度は劇的に収束しました。しかし、これは束の間で、1月になってから、今度はオミクロン株が急速に蔓延し始めました。幸い、オミクロン株は弱毒で、デルタ株のように重症化する人は少ないです。また、治療薬も使えるようになりました。本研究会の参加者はブースター接種を予定されていることと思います。このため、本研究会は現地開催で行うこととしました。今後の状況は不透明ではありますが、3月には皆様方と対面で手外科治療を語らう機会を持てますことを祈るしだいです。

さて、つくば市は茨城県の県南に位置し、比較的温暖な地域にあります。つくばエクスプレスで秋葉原から最速45分、成田空港から高速バスで約1時間とアクセスがよいところです。中心部の研究学園都市は、宇宙航空開発機構（JAXA）ほか国立の研究機関が並ぶ比較的新しい街です。フラットで道が広く、ランニングが人気です。名峰筑波山が近く、つくば駅から登山口行きのバスが頻繁に出ています。中腹には筑波山神社があり、登山道には所々に見どころがあるので、楽しみながら山を登れます。また、ケーブルカーやロープウェーを利用すれば、山頂までのアクセスは容易で、山頂からは関東平野を一望できます。また、この時期には水戸の偕楽園の梅が有名ですが、筑波山梅林でも梅まつりをやっていて梅を楽しむこともできます。少し足を延ばせば日本で2番目に広い湖である霞ヶ浦が近く、最近では旧筑波鉄道跡のサイクリングロードが人気です。アウトドアは感染のリスクがほとんどありませんから、観光も楽しんでいただければと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

第36回東日本手外科研究会会長 西浦康正  
(筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター教授)

## ●●● 第37回東日本手外科研究会

第37回東日本手外科研究会を2023年1月28日（土曜日）に秋田市のにぎわい交流館AUで開催を予定しています。

テーマは「手外科の襷を次世代へ」としました。若手の登竜門とも言えるこの研究会をきっかけに、次世代の手外科医を育てていけたらと考えております。私自身も手外科の最初の発表は1994年に東京で開催された第8回東日本手外科研究会でした。当時は座長に正確に名前を読んでもらえず苦いデビューとなりましたが、この研究会でへこたれず発表を続けてきたことが私の手外科

の発展につながったと確信しています。会員の皆様にも若手医師に積極的に声をかけて、演題を  
発表させて一緒に秋田を訪れてほしいです。

1月下旬の秋田は冬真只中です。日本海から吹きつける強風、しんしんと降り積もる雪、日中  
も灰色の雲で覆われる暗い世界、おそらくこの研究会がないと冬の秋田には観光目的で訪れるこ  
とはないでしょう。晴天は期待できませんが、遠い昔から綿々と続いた発酵食品文化や日本海で  
とれたての魚、小正月行事、温泉地、雪吊りの千秋公園、秋田犬、そして秋田大学整形外科手外  
科グループが皆様をお待ちしております。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

第37回東日本手外科研究会 会長 千馬 誠悦  
(中通総合病院 整形外科)

## ●●● 第38回東日本手外科研究会

このたび、第38回東日本手外科研究会を開催させていただくこととなり、身に余る光栄です。  
本研究会は1987年に第1回を故山内裕雄名誉教授が開催され、2013年第27回を楠瀬浩一先生が開  
催されています。今回で順天堂大学としては3回目の担当となります。会期は2024年1月27日  
もしくは2月3日を検討中で、会場は未定です。  
会員の皆様にとって有意義な会にすべく、また多くの皆様方が気軽に参加できるような会にすべく、  
順天堂大学手外科グループ一丸となって準備してまいります。  
会員の皆様にはご協力、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

第38回東日本手外科研究会 会長 原 章  
(順天堂大学浦安病院 手外科センター)

## ●●● 運営委員会から

以下に、令和3年1月29日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. 第35回東日本手外科研究会: 令和3年1月30日、第35回東日本手外科研究会が、長田伝  
重会長(獨協医科大学日光医療センター 整形外科)の主催のもと、成功裏に無事終了いた  
しました。(COVID-19感染流行の最中のため、ライブ配信での開催)
2. 会員動向: 新入会員56名で、現会員数は676名となりました。
3. 会長・次期会長の承認: 会長に西浦康正先生(筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センタ  
ー)が、次期会長に千馬誠悦先生(中通総合病院整形外科)が承認されました。また次々期  
会長に原 章先生(順天堂大学浦安病院整形外科)が選出されました。
4. 運営委員: 任期満了を迎えた21名の委員(西田淳、山本謙吾、池上博泰、岩崎倫政、千馬誠  
悦、三上容司、長田伝重、高原政利、射場浩介、岩部昌平、佐藤和毅、古町克郎、松田健、  
岩瀬嘉志、佐竹寛史、鳥谷部荘八、上里涼子、大江隆史、長田龍介、長尾聡哉、松浦慎太郎)  
に関して再任が承認されました。

また、新運営委員として、上野幸夫会員(太田西ノ内病院(太田総合病院附属))、江尻壯  
一会員(いわき市医療センター)、佐藤光太朗会員(岩手医科大学)、関口昌之会員(東  
邦大学医学部整形外科学講座(大森))の4名が選出されました。

## ●●● 訃報

山内裕雄先生(順天堂大学医学部名誉教授)が令和3年4月に逝去されました。山内先生は本研  
究会の発足に尽力され、第1回の本研究会を主宰されました。名誉会員になられた後も顧問として  
長らく御指導を頂いてまいりました。ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

## ●●● 発行遅延のお詫び

東日本手外科研究会ニュース送付に際し、従来であれば9月頃に発刊する予定が事務局の確認漏  
れにより大幅に遅くなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

東日本手外科研究会事務局

## ●●● 東日本手外科研究会事務局

〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル (株)アイ・エス・エス内  
TEL: 03-6369-9984 / FAX: 03-6369-9982 / E-mail info@ejhand.jp  
URL <http://www.jssh.or.jp/ejhand/>